

わたしたちの

# 釜利谷南

創立10周年記念



横浜市立釜利谷南小学校

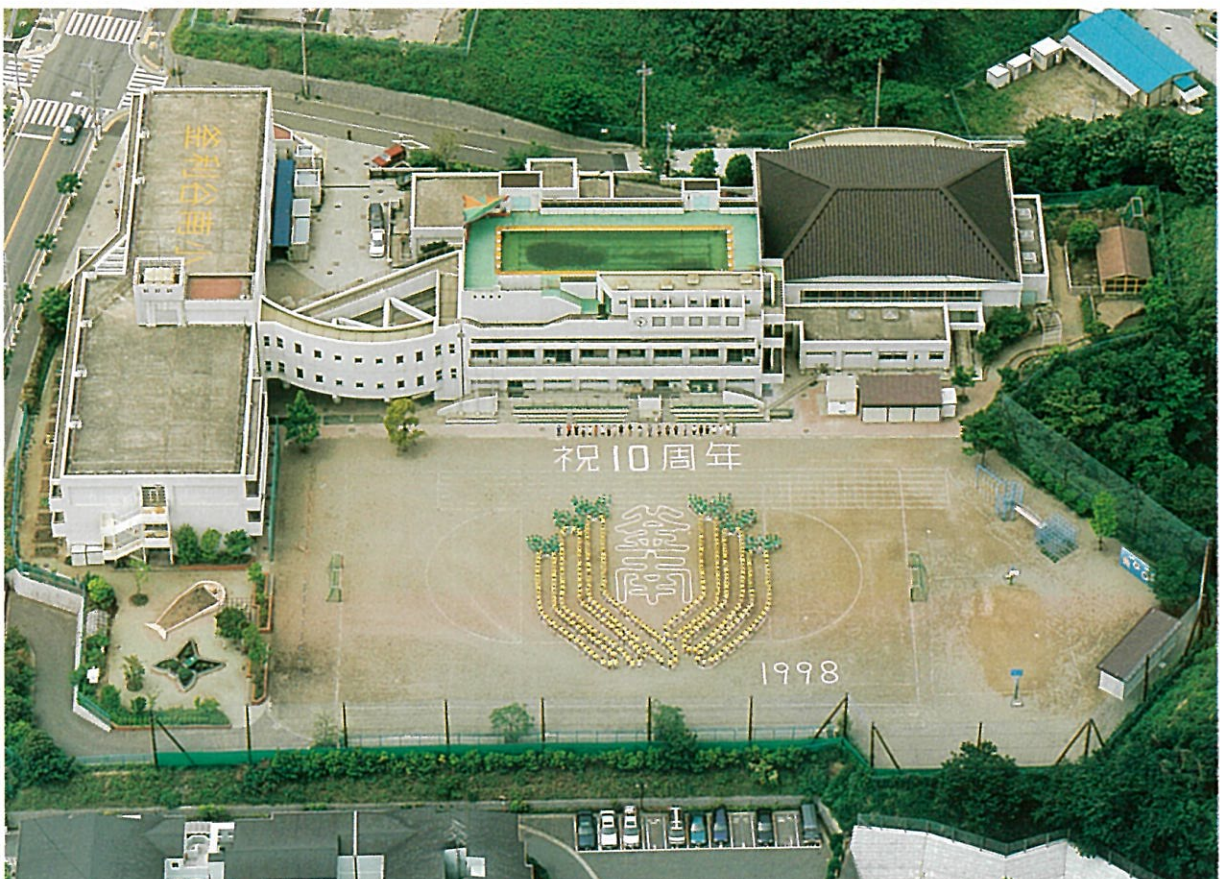


○ 平成元年と平成10年の学校をくらべてみましょう。

平成元年



平成十年



○ 平成元年のまちのようす



○ 平成10年のまちのようす



○ 永島さんのシクラメンづくり



土づくり



う植えかえ



# はじめに

学校長 林 三 郎

わたしたちの釜利谷南小学校が生まれて、今年で10年になりました。

創立10周年を祝って、地域のみなさんやPTAの方々、そして児童会や先生方が話し合いをしていろいろな記念行事を計画しました。

そのひとつとして「わたしたちの釜利谷南」という本をつくって学習に役立ててもらうことにしました。

この本にはわたしたちの釜利谷南小学校のこと、わたしたちがくらす町のこと、この町の昔と今のちがい、地域のみなさんの願いなどがやさしく書かれています。

みなさんが毎日楽しくすごせる町や学校が今あるのは、地域のみなさんや、卒業していった多くの先ばいや、多くの先生方がよりよい町にしよう、りっぱな学校にしようと努力して下さったからです。

その人たちの願いや、その願いに向けての苦労や工夫を読みとってほしいと思います。

そして、それらの人たちに感謝するとともに、今の自分に誇りを持って下さい。そして、今よりもっともっとすばらしい町、すばらしい学校にしていくよう努力して下さい。

昔を知り、今をみて未来を考えることはとてもすばらしいことです。

20年後・30年後のわたしたちの町や釜利谷南小学校の様子を思い浮かべると、夢が大きく広がっていきます。

この本は、先生方をはじめ町の方々のおうえんでできあがりしました。この本で学んだことがいつまでも心の中にのこることを願っています。

最後になりましたが、忙しいなか編集にたずさわっていただいた先生方、地域の方々に心からお礼申し上げます。

# も く じ

はじめに……………	1	・育てられた花のゆくえ……………	21
もくじ……………	2	5. まちのうつりかわり……………	22
平成元年と平成10年の学校のようなすのちがい…	3	・むかしさがし……………	22
平成元年のまちのようす……………	4	・古い道具……………	24
平成10年のまちのようす……………	5	・まちのお祭り……………	25
永島さんのシクラメンづくり……………	6	・学校ができるまで……………	26
1. 釜利谷地区センター……………	7	6. 学校のうつりかわり……………	28
・まちの人々が利用しているようす……………	7	・10周年の顔……………	28
・しせつのようす……………	8	・学校目標、児童数のうつりかわり……………	30
・利用する人数、時間などのようす……………	9	・学校のあゆみ……………	31
2. わたしたちのまち……………	10	・第一回卒業式と校章……………	32
・学校のちかくの絵地図……………	10	・校歌と校歌発表会……………	33
・学校のまわりのようす……………	12	・釜南音頭……………	34
3. まちのスーパーマーケット……………	14	・校舎の平面図……………	35
・「かねひら」の売り方のくふう……………	14	7. ごみのゆくえ……………	36
・「相鉄ローゼン」の売り方のくふう……………	15	・ごみ収集車の順路……………	36
・「Dコープ」の売り方のくふう……………	16	・わたしたちのできることはなんでしょう…	37
・いろいろなお店……………	17	8. 釜利谷・金沢の <sup>うつ</sup> り <sup>か</sup> わり……………	38
4. 永島さんの花づくり……………	18	おわりに……………	42
・シクラメンづくりの一年間……………	18		
・シクラメンづくりのようす……………	19		
・シクラメンのほかの花づくり……………	20		



# 1. 釜利谷地区センター

地区センターは、<sup>ようじ</sup>幼児からお年よ  
りまでの<sup>ちいき</sup>地域のみなさんが、<sup>きがる</sup>気軽に  
利用できる<sup>しせつ</sup>施設です。いろいろなサー  
クル活動、<sup>けんしゅうかい</sup>研修会、<sup>しゅうかい</sup>集会、スポー  
ツ・レクリエーションなどの活動  
を通じて「仲間づくり」や「ふれあい」  
を深める場として利用できます。



<sup>じしゅじぎょう</sup>自主事業……いろいろなサークル活動の行事の場として、利用されてい  
ます。金沢区には現在、金沢地区センター、釜利谷地区センター、富岡  
並木地区センター、六浦地区センターの4つの地区センターがありますが、釜利谷地区センターは平成4年に<sup>かいせつ</sup>開設されました。今は、多くの地  
域の人々に利用されています。

○ どのような人たちが、どのように利用しているのか、<sup>しら</sup>調べてみましょ  
う。

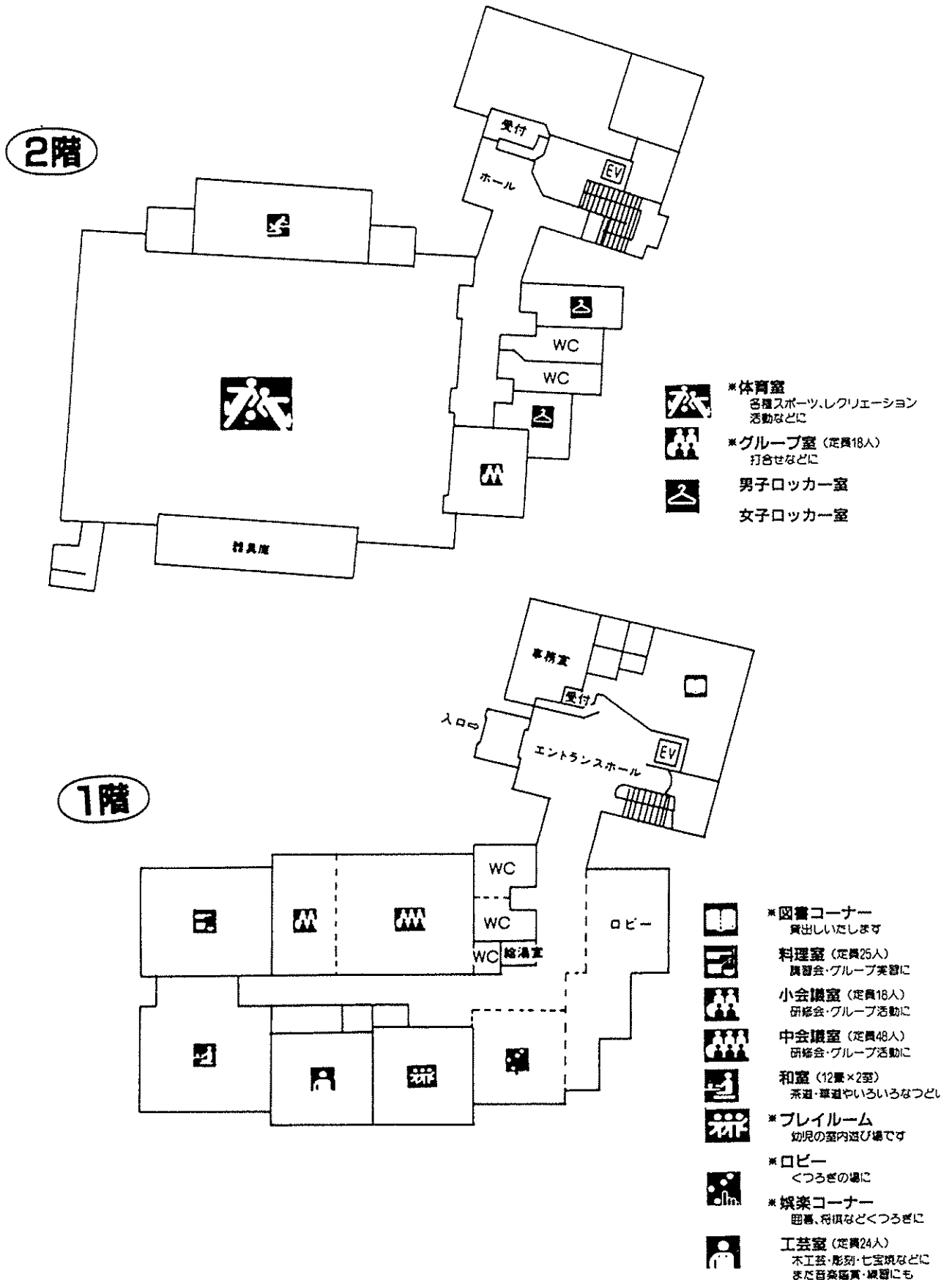
あみもの教室



子どもたちのお料理教室



○ 地区センターには、どのような<sup>へや</sup>部屋があるか、<sup>しら</sup>調べてみましょう。



○ 利用のしかたについて<sup>しら</sup>調べましょう。

(1) 利用者<sup>そうすう</sup>総数 (人) (平成9年度)

男	女	計	一日平均	開館日数 <sub>(月)</sub>
31,117	59,877	96,994	316.9	306

(2) 階層<sup>かいそうべつうちわけ</sup>別内訳 (人) (平成9年度)

幼 児	4,953	大 学 生	1,119
小 学 生	14,738	一 般 男 性	13,092
中 学 生	6,004	一 般 女 性	40,975
高 校 生	2,471	65歳以上	13,642

(3) 時間<sup>うちわけ</sup>帯別内訳 (人) (平成9年度)

午前	37,834	午後	50,124	夜間	9,036
----	--------	----	--------	----	-------

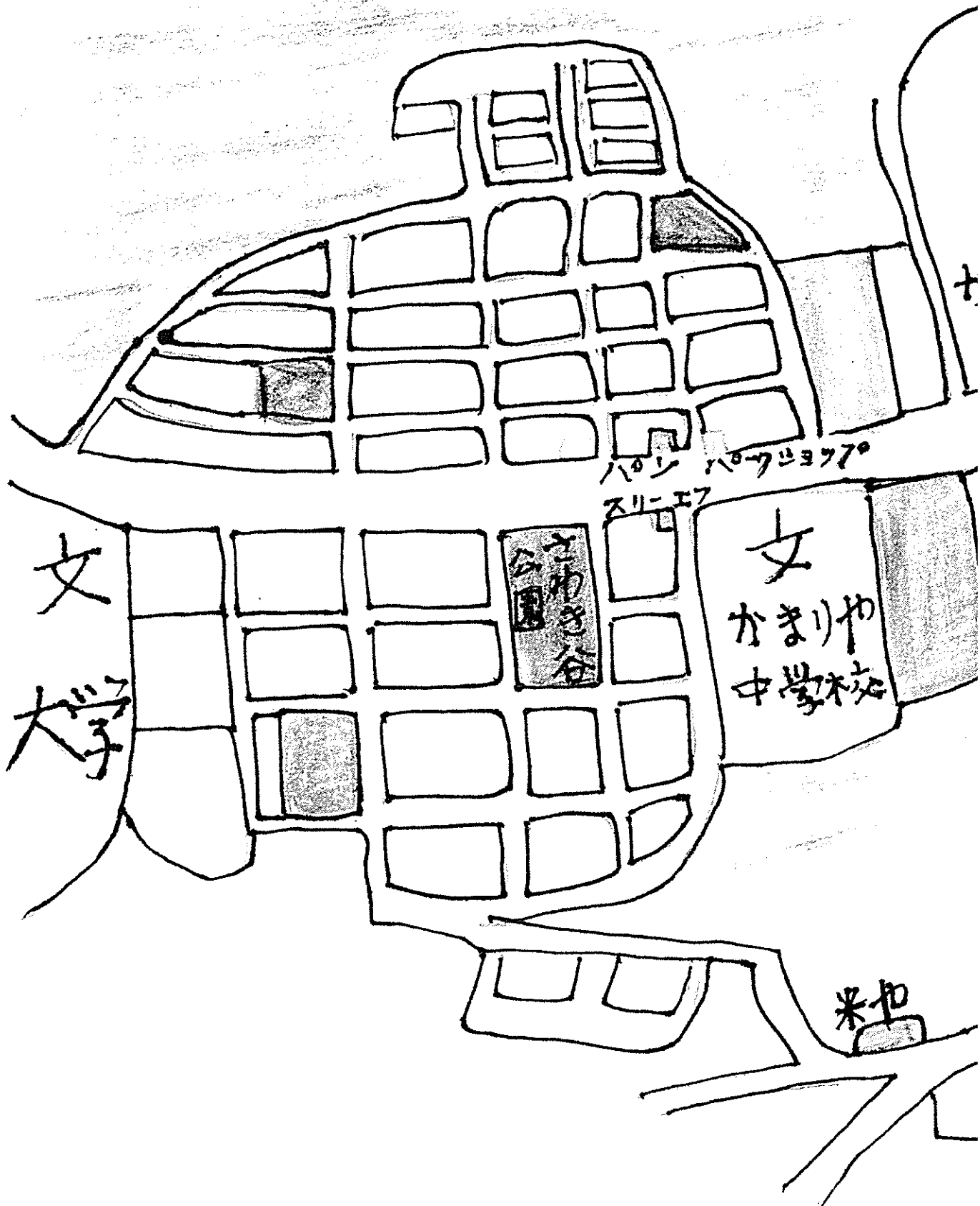
(4) 部屋<sup>へやべつうちわけ</sup>別内訳 (人) (平成9年度)

プレイルーム	3,814	体 育 室	30,757
図書コーナー	18,316	グ ル ー プ 室	4,795
料 理 室	2,730	娯 楽 コ ー ナ ー	7,331
和 室	5,578	小 会 議 室	2,335
工 芸 室	7,205	中 会 議 室	4,776
そ の 他	18,530	小 中 会 議 室	7,293
		計	110,730

(5) 図書<sup>としよりよきょうきょう</sup>利用状況

24,188 冊	(一日平均 79.04 冊)	蔵書数	10,382 冊
----------	----------------	-----	----------

2. わたしたちのまち





○ 屋上から見た学校のまわりのようすです。平成5年と平成10年とで、  
ようすをくらべてみましょう。

平成5年



平成5年

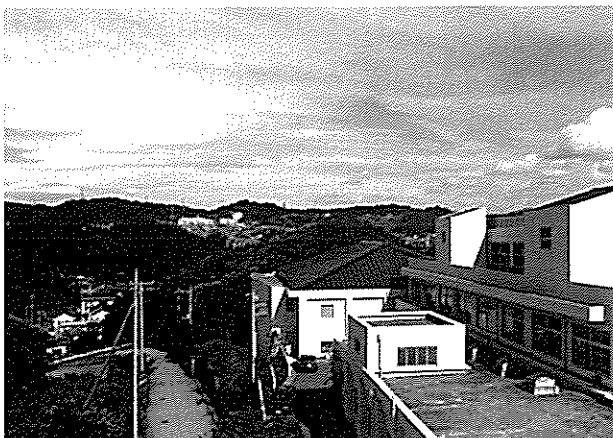


平成10年

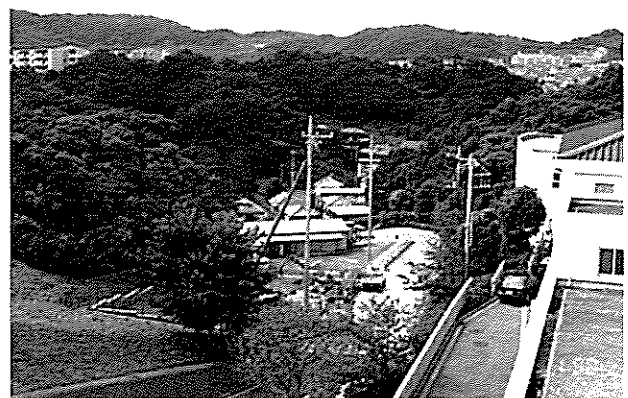


○ どの方角<sup>がく</sup>かわかりますか。

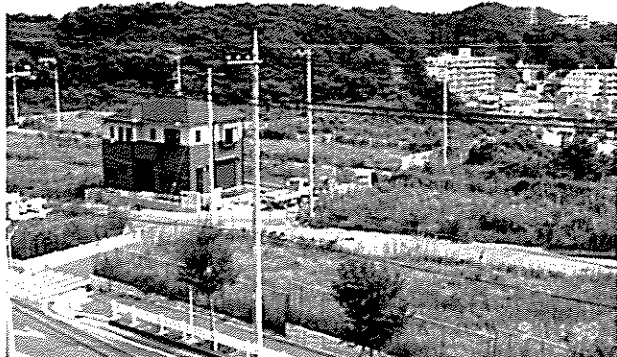
平成5年



平成10年



平成10年



平成5年



○ 5年間でずいぶん、変わった  
ところがありますね。

平成10年



平成5年



平成10年



### 3. まちのスーパーマーケット

○ スーパーの人たちは、大ぜいのお客さんに来てもらい、喜んでもらえるように、どことなくふうをしているのでしょう。



#### —かねひら—



- ・いつでも買物がしてもらえるように、午前10時から午後10時まで店をあけている。
- ・よい品を安く買ってもらえるように、店の前や中にちらしをはって知らせている。
- ・100円でワンポイントになるポイントカードをつくっている。
- ・肉、魚、野さいなどは、新しくて安いねだんがつけられるように、毎日市場に行っている。

- ・店がせまいので、短い時間で買物ができるように、目玉商品をおいてある。



## —<sup>そうてつ</sup>相鉄ローゼン—



- 水曜日から土曜日にかけての売り出し商品を知らせるちらしと月に一回か二回、とくべつに売り出す商品を知らせるちらしを配っている。



- 相鉄ローゼンだけで売る商品をおいてある。(ロゴ入り商品)
- <sup>してつ</sup>私鉄八社で売る商品をVマーク商品として安く仕入れて売っている。
- <sup>いりょうひん</sup>衣料品は少なめにして、食料品に力を入れ、多くの品を置いてある。

- 第一または第二土曜日に、<sup>せいせんしょくひん</sup>生鮮食品の日として、新しくて安い品を売れるようにしている。
- 大きなスーパーに負けないように、ねだんを下げたり、その他のサービスをしたりしている。
- 店の前で花を売り、明るいイメージづくりをしている。



## —Dコープ—

- ・多くの種類のお米があり、東北地方のお米はほとんどおいてある。神奈川県でとれるお米として、「きぬひかり」がある。また、玄米をその店で精米することもでき、3分づき、7分づきなど、お客さまの好みで精米してもらう。



- ・すべての種類のお酒がおいてあり、その中でもよく売れるものをより安くして、いつでも仕入れてからすぐに店にならべて新しいうちに買ってもらえるようにしている。4ℓのペットボトルウィスキーな

どがよく売れている。

- ・ボリューム感のある並べ方をくふうして、お客さまが店に入ったときによい感じをもってもらえるように気をつけている。
- ・店が広いのでゆっくり見て選んでもらえる。

—いろいろなお店—



せいきょう



シツオカヤ



スリーエフ



パークショップ



パン・モーニングトースト

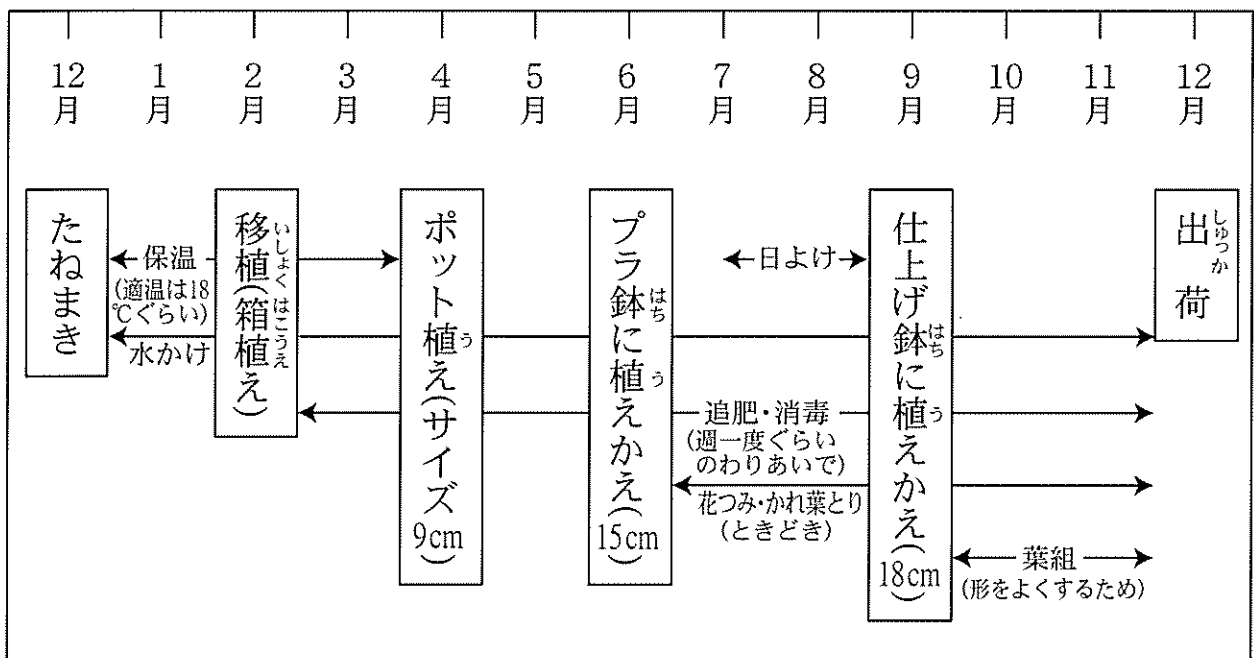
○わたしたちは、このほか金沢文庫  
えき  
駅の近くのスーパーや商店がいで  
買いものをするときがあります。

## ながしま 4. 永島さんの花づくり



○ 永島さんは、シクラメンの花がさくまでに、どのような仕事をしているのでしょうか。

### シクラメン作りの一年間



○ シクラメン作りの仕事のようすを調べてみましょう。



### 土づくり

土・腐葉・肥料などをまぜあわせ、6ヶ月ぐらいいおき、じゅくせいさせます。使えるようになるまでおよそ一年かかります。使う前に土を消毒します。



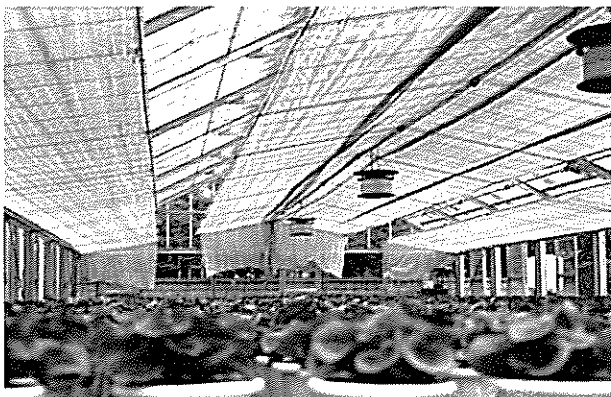
### 水やり

シクラメンのようすを見ながら水の量を調節します。かわいたら、水をたっぷりあげます。



### 植えかえ

シクラメンがだんだん大きくなるので大きな鉢に植えかえます。



### 日よけ

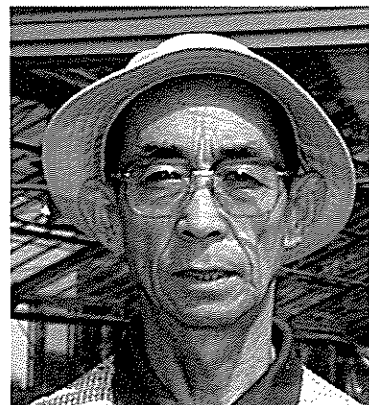
温室の上部にカーテンのようなものを張って、夏の日中の強い日光や、温室内の温度が上がるのをふせぎます。冬は暖房で温室をあたためます。

シクラメンを作るうえで気をつけることは、病気にならないようにすることです。特に、土に病気のもとになるものを含んでしまうと全滅つしてしまうので、土づくりに一番気をつかいます。

また、育てているときには、いつも注意深く観察しています。たとえば、害虫はついていないか、肥料は適量か、水は適当か、などです。たくさん花がさくよう、観察したことを記録して、次の年の参考にしています。

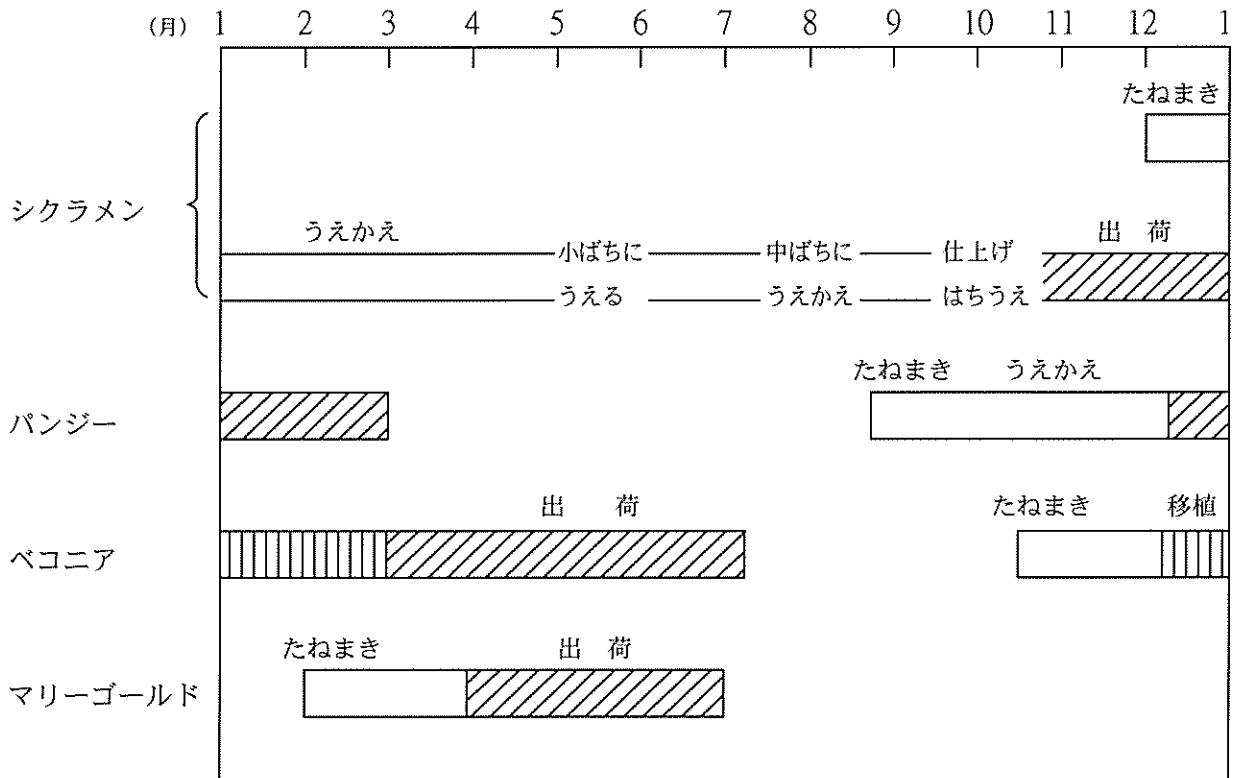
こんなふうに、いろいろ気をつけているのですが、たねまきのときに6000つぐらいまいても、出荷するときには、3000鉢ぐらいにへってしまいます。

### 永島さんの話



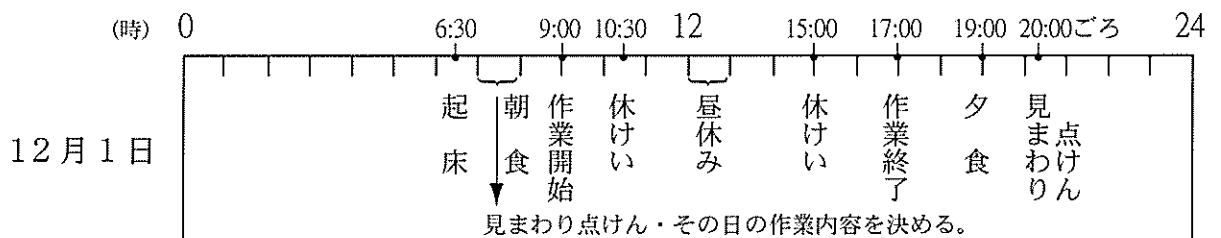
○ 永島さんはシクラメンのほかに、どのような花を育てているので  
しょうか。

花栽培ごよみ



永島農園ではこのほかの種類の花もたくさん育てています。

永島さんのある日のようす



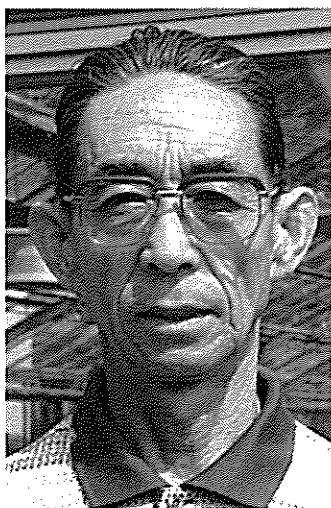
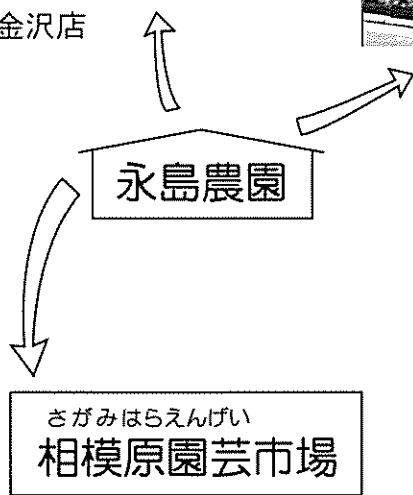
12月はいちばんいそがしいところです。仕事にゆとりのあるときは、生産計画を立てることもしています。労働時間は年間を通して1日7～8時間を原則としています。

○ <sup>そだ</sup>育てた花はどこへ運ばれていくのでしょうか。



トンカチ金沢店

花のナガシマ直売所



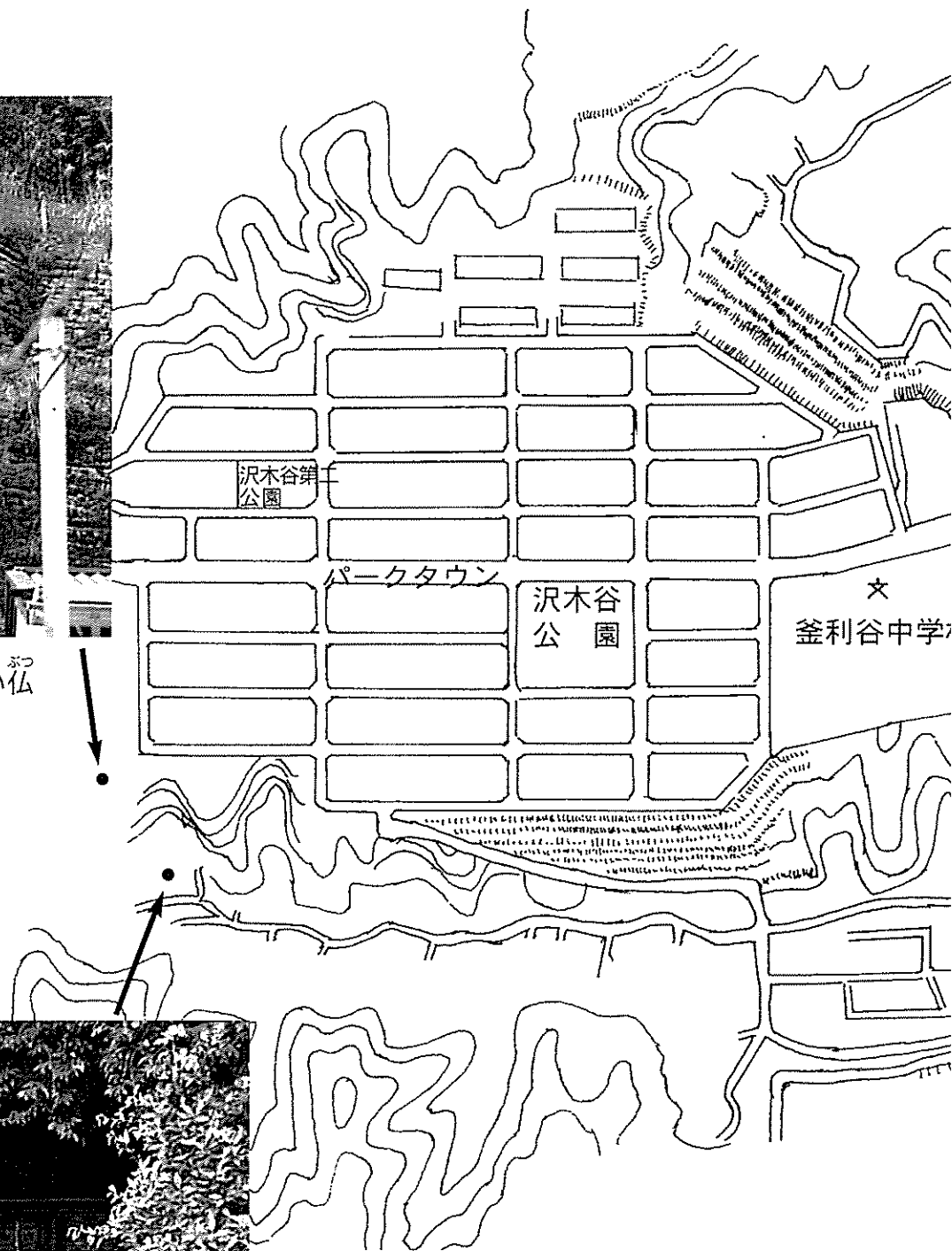
出荷するときは、毎日の仕事の積み重ねの成  
果の表れるときです。  
動物を育てる農家のように別れるのがかなし  
いというより、「こんなに育ってくれて、あり  
がとう。とてもうれしい。」という気持ちです。  
花がりっぱに育って、よいねだんでうれると  
きが、いちばんうれしいです。

## 5. まちのうつりかわり

- わたしたちのまちのどこに、古くからのこされているものがあるでしょう。自分でさがしてみましよう。



ぶつ  
関東学院のそばのまがい仏



ヤグラの中の白山社

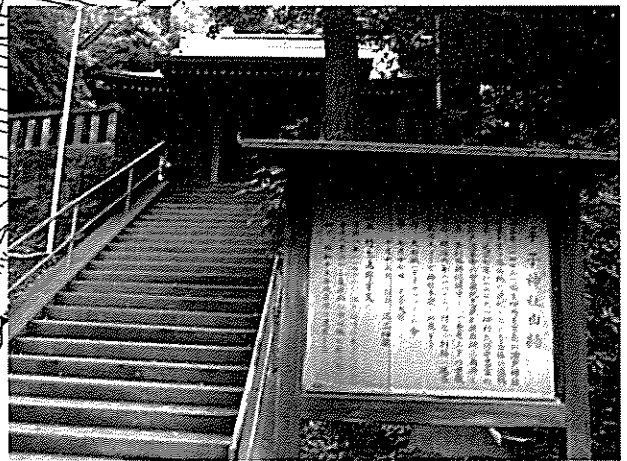




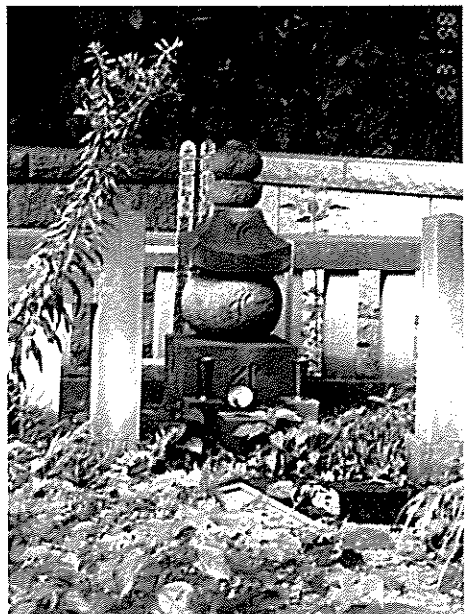


釜利谷坂本公園

手子神社の石仏 せきぶつ



白山道のトンネルのそばにある  
はたけやまろくろう はか  
島山六郎の墓



手子神社の防空ごうのあと

いずみタウン

釜利谷南  
小学校

白山道

白山道公園

白山東光禅寺



○ むかしの人たちは、古くからのこされているものをつかって、どのような生活をしていたのでしょうか。

かまとかまど



かまどの中で、まきに火をつけ、かまをのせ、ごはんをたきました。

いろり



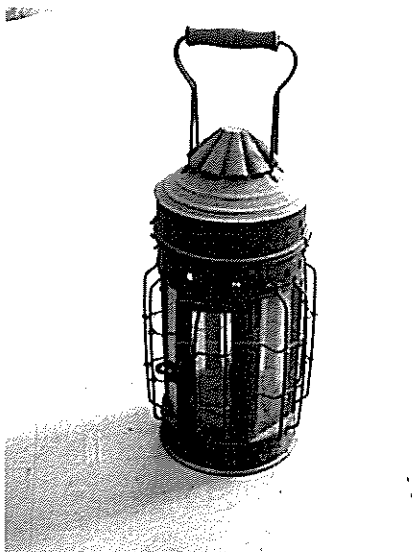
いろりの火で、にもものしたり、魚を焼いたりしました。

しちりん



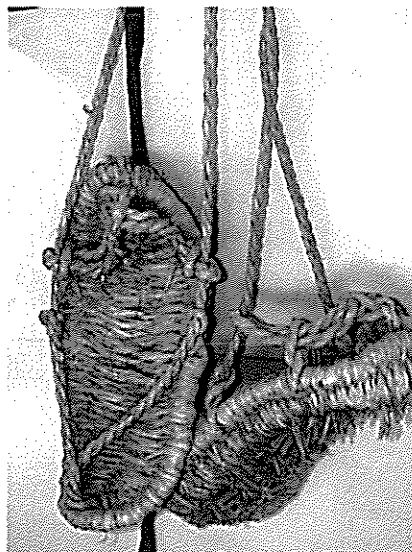
紙やまきをもやし、その上に木炭をのせて火をおこし、にもものしたり魚を焼いたりしました。

カンテラ



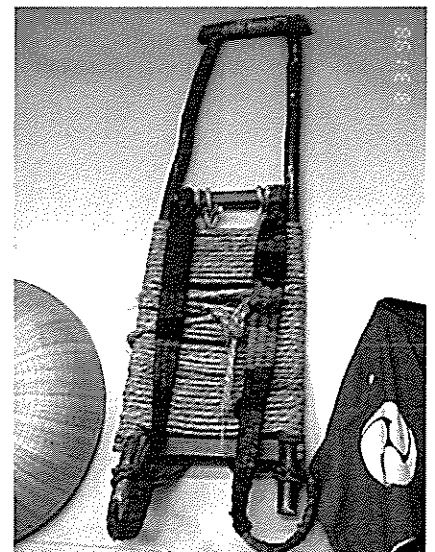
今の懐中電灯のように、油でともした灯をもちほこびできるようにした。

わらじ



わらでつくったぞうりのようなはきもので、どこかへ行き来するときに使いました。

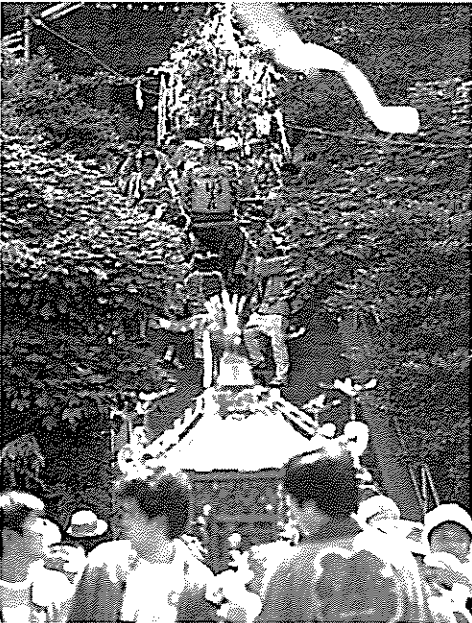
しよいこ



重いものなどを運ぶ時に使いました。運ぶものをひもで結びつけて背中にしょいました。

- わたしたちのまちには、むかしからつたわる行事があります。どんな行事が人々のどのような願いから、うけつがれてきたのか、調べてみましょう。

### 手子神社のお祭り<sup>まつ</sup>



坂本町内会長 玉城 正一さんのお話

むかしは、「お米」が「宝」でした。だから、お米がたくさんとれますようにとおねがいして、お祭りをしました。

今は「子ども」が「宝」です。かまじゅうの子どもたちが、元気におみこしをかつげるじょうぶな体になってほしい、とおねがいするお祭りになっています。

お祭りには、みんな元気に、おみこしをかつぎに来てね。

- わたしたちのまちには、新しくおこなわれるようになった行事もあります。調べてみよう。

### ニューライフの秋祭り



ニューライフ金沢文庫自治会長

水島 耕成さんのお話

釜利谷坂本公園でおこなわれている秋祭りは、ご近所に住んでいる子どもからお年より、男女を問わずにみんなが心をつにして楽しめる場となっています。日ごろ顔を会わせることの少ない人たちにも気がるに声をかけ、なかまになれます。

- 釜利谷南小学校は釜利谷小学校からわかれて開校しました。開校までのあゆみを釜利谷小学校のあゆみを中心に調べてみましょう。

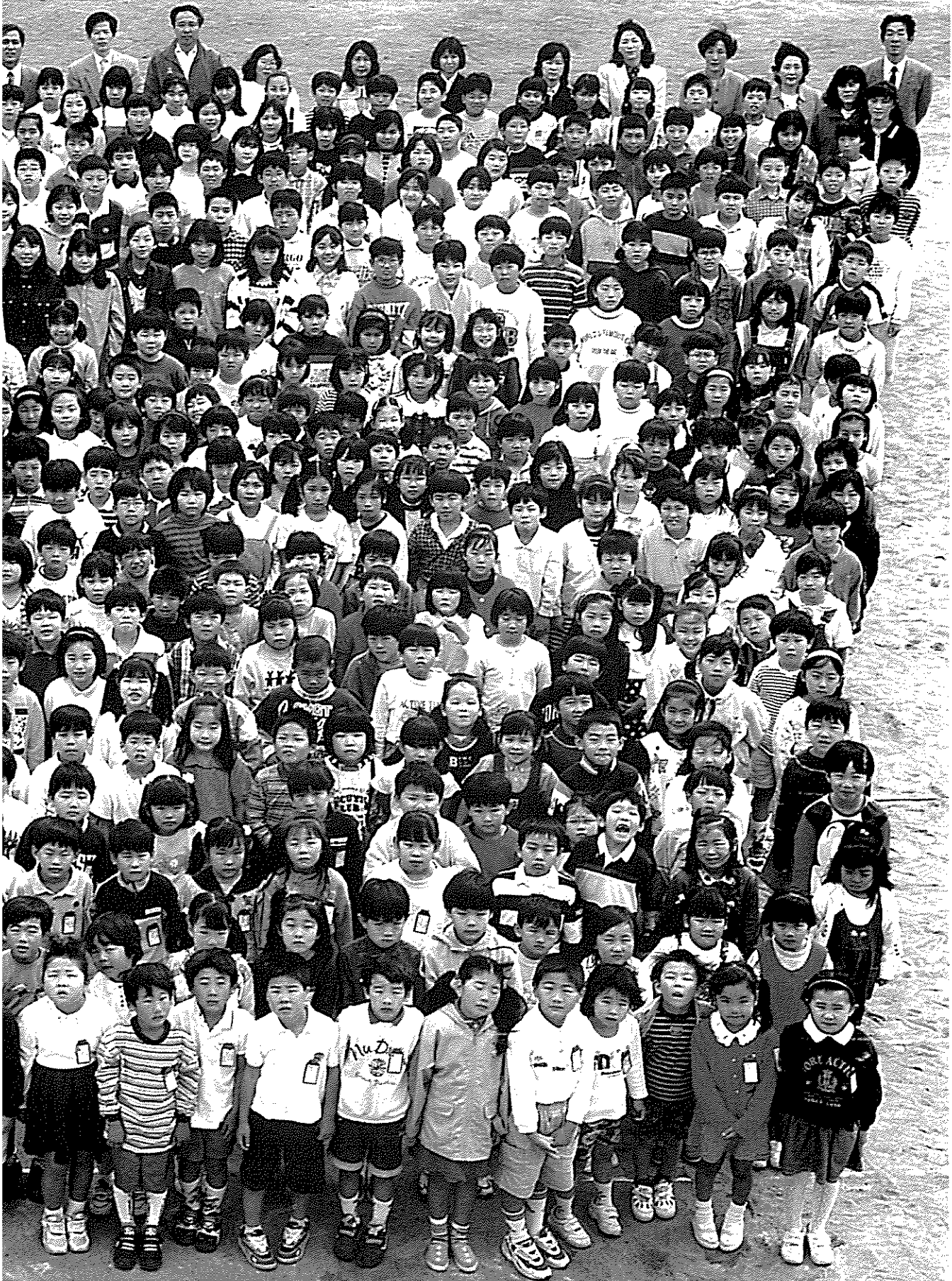
時代	年	西暦	できごと
明	6	1873	釜利谷小学校のはじめである「赤井学舎」が満蔵院 <small>まんぞういん</small> につくられた。児童数は71名だった。
	8	1875	「小学釜利谷学校」と名前を変えた。
	11	1878	新しい校舎が今の笹下釜利谷道路 <small>ささげ</small> に面したコスモマンションとなりたてられた。村の人々の協力により、1年2ヶ月の月日をかけて完成させられた。
	20	1887	規則 <small>きそく</small> が変わったため、尋常科 <small>じんじょうか</small> だけとなり、5・6年生は三分小学校に通学することになった。児童数69名。
治	25	1892	「六浦村立尋常釜利谷小学校」 <small>むつうらそんりつじんじょう</small> と名前を変えた。
	26	1893	今までの教科書から新しい教科書にかわった。はじめて通信簿 <small>つうしんぼ</small> （いまの「あゆみ」）が使われるようになった。児童数113名。
	44	1911	校舎がせまくなったので、新しく校舎をたてた。平屋づくりで、6教室。児童数182名。
大正	3	1914	電灯線が引かれ電灯がついた。児童数71名。
	12	1923	関東大震災 <small>かんとうだいしんさい</small> のため、校舎のほとんどがこわされて、休校になっていたが、9月20日から金蔵院、手子神社 <small>やがいじゆぢょう</small> などで野外授業がおこなわれた。10月30日からはお寺をかりて、屋内授業がはじめられた。
	15	1926	三分・釜利谷の2校を合わせて「六浦荘村立尋常高等六浦小学校」 <small>むつうらそうそんりつじんじょう</small> となった。釜利谷分教場ができた。児童数215名。
昭和	11	1936	釜利谷が横浜市磯子区に編入された、「六浦尋常小学校釜利谷分教場」 <small>むつうらじんじょう</small> となった。児童数113名。
	16	1941	国民学校令が出され「六浦国民学校・釜利谷分教場」となった。太平洋戦争がはじまった。
	19	1944	分教場が独立して、「釜利谷国民学校」となった。
	20	1945	新校舎落成式 <small>ぼうくうごう</small> とあわせて、防空壕をかねた児童通学用トンネルの開通式がおこなわれた。
和			太平洋戦争がはげしくなったので、児童疎開 <small>じどうそかい</small> にかえて村内分散授業 <small>ぶんさん</small> をおこなった。

時代	年	西暦	できごと
昭 和	22	1947	戦争がおわったので、分散授業をやめた。児童数は360名、9学級。 学制改革のため、「横浜市立釜利谷小学校」となった。児童数450名、13学級。
	25	1950	長年待ちのぞんでいたピアノが、市より入れられた。児童数735名、18学級。
	26	1951	2階建4教室が完成した。児童数794名、18学級。
	31	1956	プールが完成し、プール開きをした。これより、水泳教室がはじまった。児童数1087名、22学級。
	32	1957	第1校舎の改築がおわった。児童数1093名、23学級。
	33	1958	第2校舎の改築がおわり、午前の部と午後の部にわかれておこなわれていた2部授業がなくなった。児童数1158名、25学級。
	38	1963	体育館の落成式がおこなわれた。児童数861名、19学級。
	45	1970	第3校舎の新築工事がおわった。児童数1079名、学級数25学級。
	48	1973	児童数がふえ続け、教室がたりなくなったため、校庭いっぱいプレハブ教室がたてられた。児童数1491名、学級数37学級。
	50	1975	4月の児童数1910名、学級数42学級。 9月1日、釜利谷西小学校が開校した。
	51	1976	児童数1409名、学級数36学級。
	53	1978	児童数がまたふえ、プレハブ教室がたくさんたてられた。1年は8学級となった。児童数は1546名。
	54	1979	釜利谷東小学校が開校した。釜利谷小学校の児童数は844名、学級数23学級。
	63	1988	児童数がふえたため、4学級ふえ、プレハブ教室がたてられた。児童数1103名、学級数30学級。
平成	元	1989	釜利谷南小学校が開校した。釜利谷南小学校の児童数614名、学級数18学級。釜利谷小学校の児童数527名、学級数16学級。

## 6. 学校のうつりかわり

### ○ 10周年の顔

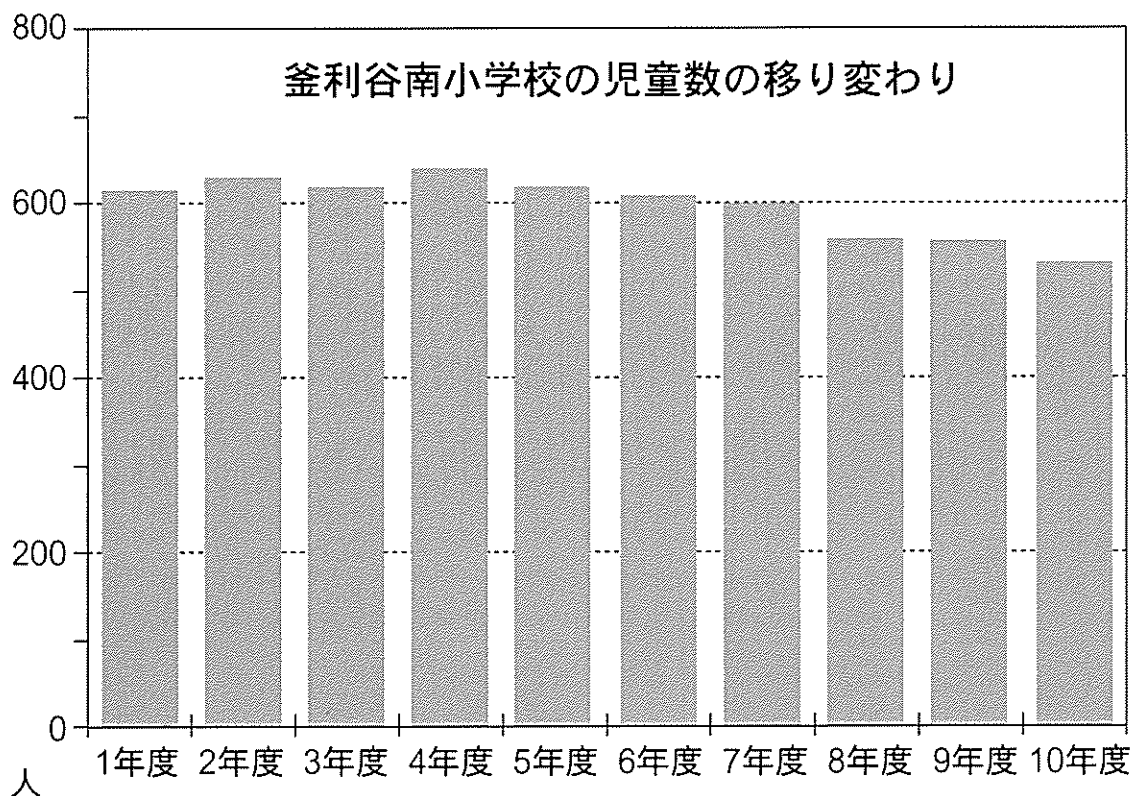




## 教育目標

自ら学び続ける力を身につけ、心豊かに、  
たくましく生きる 子どもの育成を図る。

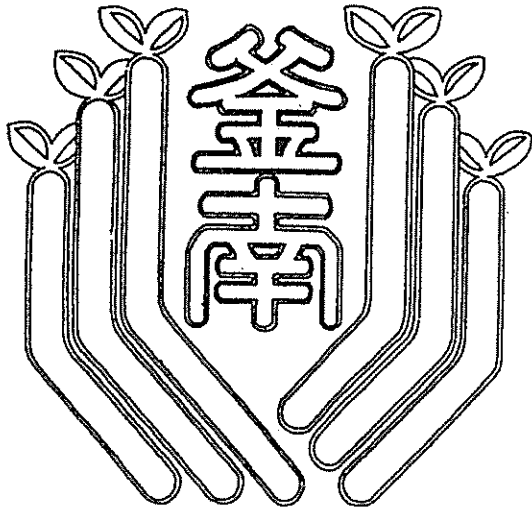
友だちを思いやり、友だちとひびき合おう  
すすんで学ぶ子  
心の やさしい子  
たくましい子





○ 横浜市立釜利谷南小学校のあゆみについて調べてみましょう。

- 元年 4月1日 横浜市立釜利谷南小学校開校式 5・6年生参加  
5日 第一回入学式・始業式  
8日 初代校長 わたべひろまさ 渡部博正先生着任式  
12日 弁当持参じさんにより平常授業開始へいじょうじゅぎょう  
17日 給食開始  
5月6日 保護者ほごしゃによる校内見学  
10月7日 第一回創立記念式そうりつきねんしき、タイムカプセル製作せいさく  
18日 市児童体育大会参加・スポーツ旗きの授与うを受ける  
11月13日 校地整備工事開始こうちせいびこうじかいし  
3月12日 校章発表会こうしょうはつひょうかい、校章披露ひろう、制作者小松正明様よりの話  
3月20日 校庭の植栽工事開始しょくさい  
2年 4月20日 校庭工事、遊具搬入ゆうぐはんによう  
7月4日 校地整備完了せいびかんりょう  
3年 5月22日 親と子の体力づくり教室開校式  
4年 1月31日 PTA、トライアングル第一回総会、規約承認きやくしょうにんされる  
2月1日 文化体育館にての親と子の体力づくり発表会しゅつえんに出演  
3月11日 校歌発表会つかもとくにお、塚本邦雄先生きのしただいすけ、木下大輔先生 来校  
4月1日 第二代校長上原誠先生着任うえはらまこと  
6年 4月1日 第三代校長荒川英昭先生着任あらかわひであき  
8月2日 校庭改修工事（運動場削土）開始 23日工事完了  
7年 4月22日 学校5日制休業日により第四土曜日が休日となる  
8年 4月1日 第四代校長林三郎先生着任はやしきぶろう  
12月9日 4年宿泊体験学習第一回目しゅくはく（野島研修センターのしまけんしゅう）  
9年 5月9日 第一回目、全校ペア一遠足を金沢自然公園にて実施じっし



横浜市立釜利谷南小学校校章  
平成元年度制定

デザイン

小松 正明 (本校児童保護者)  
釜利谷町 1200-6 H-309

1年から6年までの若木が健やかに  
伸びていって欲しいという願い。

1990年(平成2年)3月21日 水曜日



感激もひとしお。釜利谷南小の第1回卒業式

横浜市では二十日、元年度の市立小学校の卒業式がスタートした。校庭の桜も咲き始めなど、四月上旬並みのホカボカ陽気の中、三百二十七校のうち三百校で、さわやかな風立ちが降り広げられたが、今年度は二百三十三校で行

市立小  
卒業式  
まず  
300校で  
一斉に

桜も祝福  
巣立ちの日

われる卒業式で、前年より約六百人少ない約四万四百人が市立小を卒業する。

昨年四月、金沢区釜利谷町の住宅地に開校した釜利谷南小(児童六百七十七人)では、六年生(九十六人)とその親、在校生代表の五年生ら約三百五十人が参加して第一回の卒業式が行われた。正面の壁には市旗、日の丸と一緒に、在校生の父母のデザインを基に一月に作られた校章旗も掲げられた。

校歌はまだ作られていないため、これに代わる市歌の斉唱で開会。渡部博正校長から一人ひとり卒業証書を手渡された六年生らは、緊張の中にも晴れがましきさうっぱいの様子。渡部校長は北原白秋の「薔薇(はら)二曲」の詩を朗読しながら「みなさんそれぞれ個性の花が、バラの花のように周りの人へ明るさとおすそ分け、希望を届けさせてくれるように、さあ、この瞬間を大切にしよう」とほろほろの涙を流した。

六年生、五年生と教職員がそれぞれ呼び掛けと歌で学校生活の思い出、祝福、激励、決意などをこぼした。お別れの「さよなら」では、思わず感激の涙にむせかえりも見られた。第一号の卒業証書を手にした六年一組の秋山幸幸君は「いい記念になるので大事に大事にしていきたいと思います」と大喜び。

また同じ一組の新間健太郎君は、父親の仕事の都合で今月八日にマレーシアに転居した。これに先立ち、学校では六年生と先生らが五日にひと足早い卒業式を開いて祝福したが、二十日には渡部君からお礼のしがきが届いた。「一生の思い出に残る卒業式ありがとうございました」と喜ぶ。四月十七日にシンガポールの日本人学校(小・中学生二千二百二十一人)の中学校に入学しますが、校長先生がおっしゃったように「国際社会の小さな外交官としてがんばります」と新しい門出への決意が述べられていた。

校歌・校章

横浜市立釜利谷南小学校

ウルムスのかどで

作詞 塚本邦雄  
作曲 大下大輔

一 かがやくあすに向き

まつすぐに生きて行こう

春空に枝さしかわす

われらみなニレの若木

心はバラ色のあけぼの

行けりり色の海のかなた

二 りんりんとそびえよ

野性のエルムのごずえ

世界のはてを見はるかす

ひとりひとりのひとみに

数知れぬ花よひらけ

若葉のにおう野の沖に

三 南にはさざなみ

北にはるかな山なみ

あすはひびけかどでの歌

ひまわりいろの未来に

われら若緑のウルムス

朝風にきらめけよ命

注 ウルムスは榆属のラテン語学名

ウルムは英名

1992年(平成4年)3月

釜利谷南小で  
校歌発表会

歌人・塚本邦雄さん作詞



横浜市金沢区釜利谷町、市立釜利谷南小学校に待望の校歌ができた。作詞は現代短歌界の第一人者・塚本邦雄さん(六八)東大阪市在住。Ⅱが初めて校歌を引き受けて手がけ、詩、メロディーとも従来の校歌の枠にとらわれないさん新なものだ。短歌の同人会で塚本さん

の指導を受けている向小の渡部博正校長(五九)が塚本さんに作詞を依頼。前衛歌人として著名な塚本さん、これまで校歌作詞の依頼をすべて断ってきたが、海のない所に生まれ子供のころからあこがれてきた横浜の学校というところもあって二つ返事で快諾。この作品を基に塚本さんの知り合いのフ

ックデザイナー政田孝生(五五)Ⅱ大阪・高槻市Ⅱの仲立ちで東京芸大大学院生の木下大輔さん(三三)Ⅱ横浜・市戸塚区Ⅱが作曲し、先月中旬完成した。校歌のタイトルは学校周辺にアキニレの街路樹がたくさんあることから「ウルムス(ニレ属のラテン語学名)のかどで」。詞は三番まであるが一番は「かがやく明日に向き、まっすぐに生きて行こう。春空に枝さしかわす。われらみなニレの若木。心はバラ色のあけぼの。行けりり色の海のかなた」、学校校歌というより子供をたえ励ます内容で、メロディーも明るく上品にあふれ、合唱曲風なじみやすい曲。

発表会は全校児童ら約七百五十人が参加して体育館で開かれた。駆けつけた塚本、木下、政田さんには児童代表からお礼の言葉や花束が贈られ、三人は校歌にこのお思いなどを語った。



発表会で合唱して校歌を披露する児童たち

# 釜南音頭



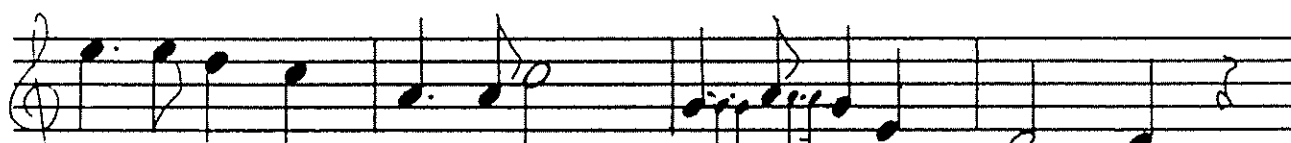
おかしなまくら はさんどうの  
いまはふんこの (ふ)やまうえに



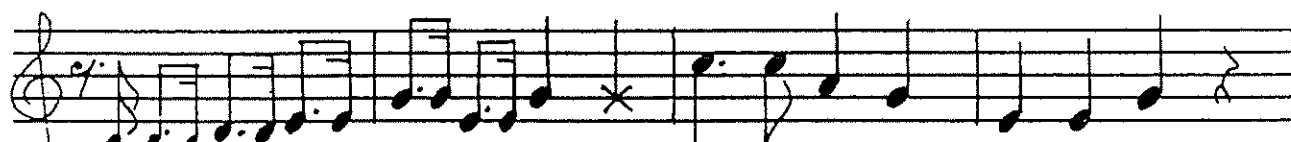
ゆーいよ あるやま さわきだ  
あたらしきーかぜ あきにれのまち



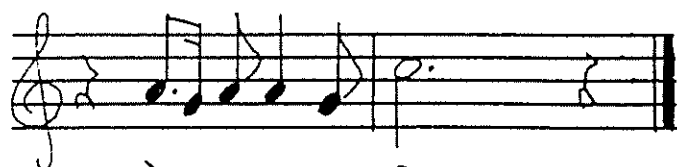
そにたたずむ かまなんしょうよ しぜんにかこまれ ちほんのき(ふ)  
いきづく あかぬいぬかおであふれるがっこう



こころは みんな ひびきあ い  
たのしさいっ ぱーい

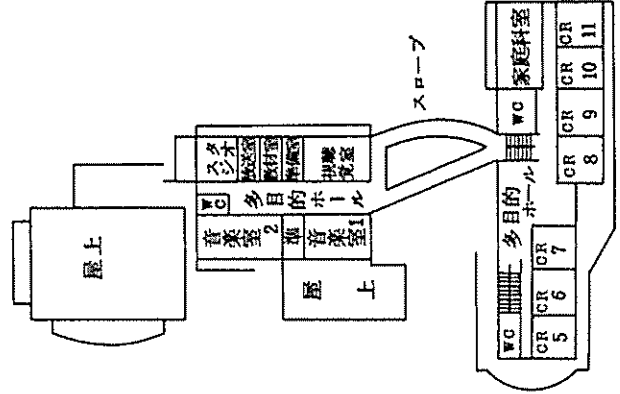
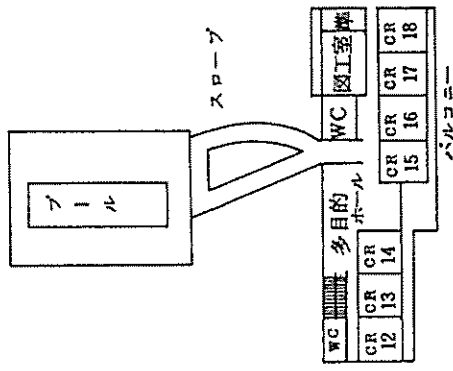
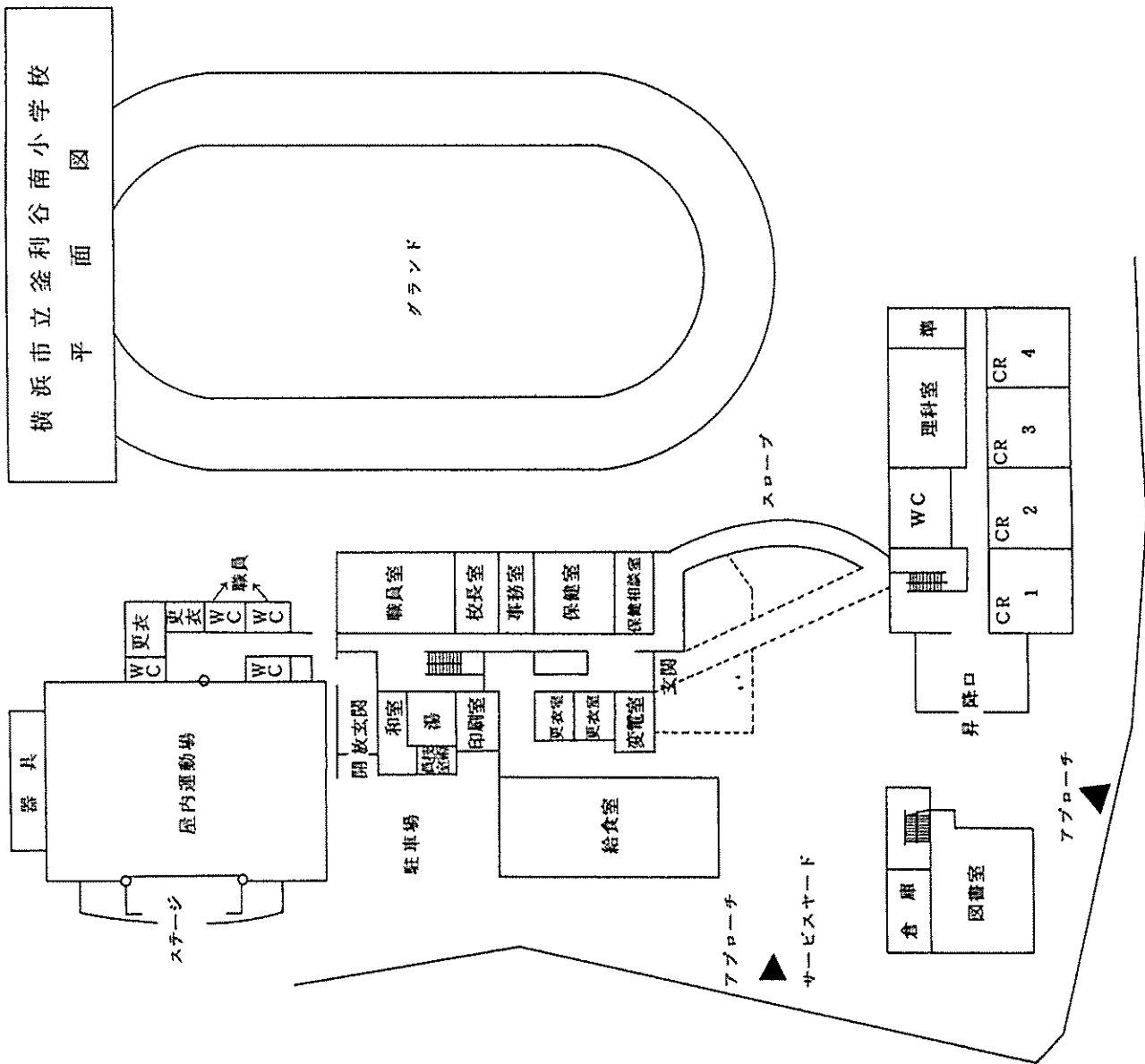


みんななかよく かがやくよ それ かまなん しょうは  
ひとりひとりが



ウルムスのこ

(釜利谷南小学校)  
(児童会 作)

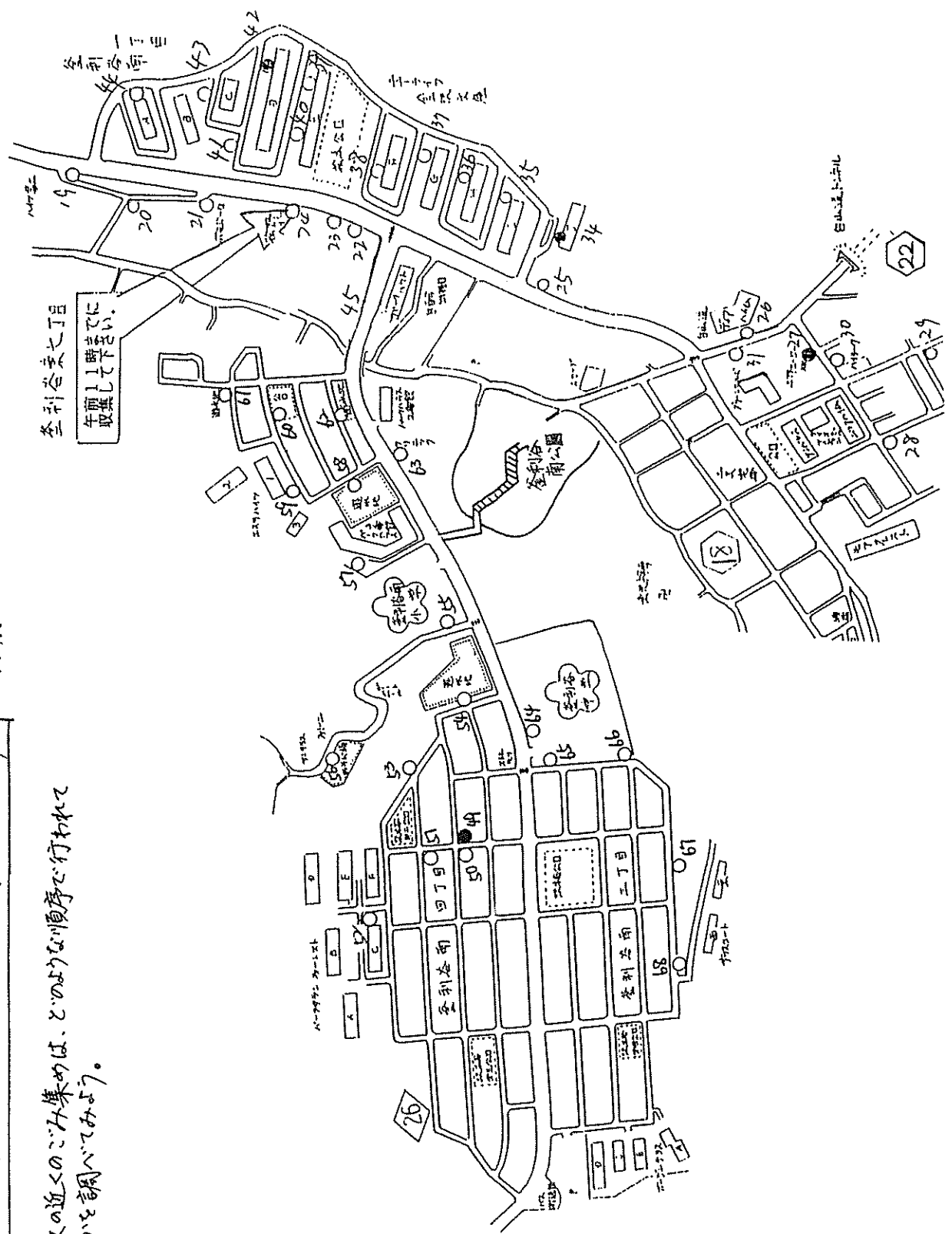


# 7. ごみのゆくえ

ごみのしよりをする人たちは、どれなくふうを(しているでしょう)。

石前

- 学校の近うのごみ集めは、どのようない順序で行われて  
いるかを調べてみよう。



○ わたしたちに できることは どんなことでしょう。

○ アルミ缶回収 かんかいしゅう

平成9年度 6000円

平成10年度 4400円

平和フェスティバルの  
ぼきん  
募金と共にユニセフ  
に送ります。



郵便振替払込金受領証

この受領証は、大切に保存してください。

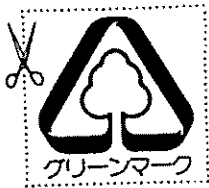
口座番号	001905	31000
加入者名	財団法人 日本ユニセフ協会	
金額	¥100.00	
銀行	横浜市金沢区金利谷南	
支店	4-12-1 横浜寺立金利谷南小学校	
料金 特取	受付局日附印	9.3.6 0219

(郵政省)

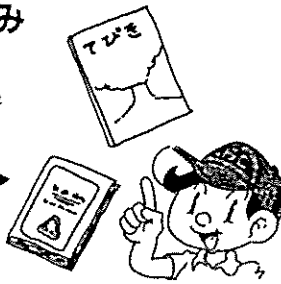
○ グリーンマーク回収 かいしゅう



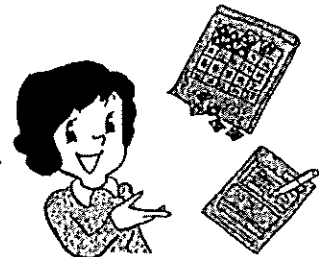
■参加申し込みと仕組み



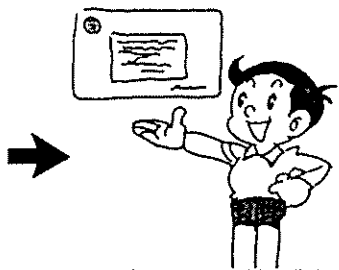
事務局へ申し込みます  
(担当者名を記入)



てびき・マークはり付け  
台帳を受け取る



マークを集め、台帳にはり「配布  
券申込書」を添えて事務局へ送る



苗木などの配布券を事務局  
より受け取る



苗木配布指定  
店が苗木を  
届ける



平成9年度

3789枚で

なえぎ  
苗木20本

## 8. 釜利谷・金沢の移り変わり

西暦	月	日	主 な で き ご と
1185			<small>みなともよりとも</small> 源頼朝が瀬戸神社 <small>せ と じんじや</small> を建てたと伝えられている。
1191			源頼朝が富岡の鎮守 <small>ちんじゆ</small> （今の八幡社）を建てたと伝えられている。
1193			源範頼が瀬ヶ崎の薬師寺で自殺した。
1205			<small>はたけやまろくろうしげやす</small> 畠山六郎重保が、北条氏と戦い、討ち死にする。釜利谷の六郎ヶ谷（白山道トンネルそば）の石塔はその墓と伝えられている。
1241	4	5	鎌倉・六浦間の道路工事が始められた。
	5	15	<small>あさひな きりとおし</small> 朝比奈切通がひらかれて鎌倉街道がつくられた。
1254			<small>にちれん じょうぎようじ</small> 日蓮が上行寺に立ち寄ったと伝えられている。
1260			このころ、 <small>ほうじょうさねとき</small> 北条実時が称名寺をたてた。
1275			このころ、北条実時が金沢文庫をたてたと伝えられている。
1472			手子神社のおこり、最初は宮ヶ谷にたてられた。
1493			禅林寺がたてられた。
1502			このころ、 <small>こんぞういん</small> 金蔵院がたてられたと伝えられている。
1510			自性院がたてられた。
1668			永島祐伯がおよそ3ヘクタールの新田や塩田をつくった。これが泥亀新田 <small>でいき</small> のおこりとされている。
1679			手子神社が今の場所にたてられた。
1703			泥亀新田が大地震のためにこわれた。
1741	12		泥亀新田の埋め立ての計画をたてられた。
1779	10		泥亀新田の埋め立ての願いが幕府に出され、まわりの村から許し <small>ゆる</small> を得た。
1785			金沢入江新田の埋め立てを始められた。
1786			春ごろおよそ30ヘクタール入江新田の埋立が完成した。
	7		入江新田が大洪水のため、流されてしまう。（その後再び埋め立てる。）
1791	8	9	泥亀新田 <small>ていぼう</small> の堤防が大風雨のため流された。
1803			釜利谷小泉に新田が開かれた。
1843			泥亀新田の埋立の願いが出された。
1845			泥亀新田の埋立に対して、まわりの村から反対の訴えが出された。
1847			泥亀新田の埋立が始められた。
1849			泥亀新田が完成した。
1853	6	4	アメリカ艦隊が本牧沖 <small>ほんもくおき</small> に停泊し、近海 <small>そくりよう</small> を測量した。
1854	1	16	アメリカ使節ペリーが軍艦七隻をひきいてふたたび浦賀沖 <small>うらがおき</small> にあらわれ、小柴沖に停泊した。
1871	11	14	<small>はいはん ちけん</small> 廃藩置県が行われたため、六浦藩が六浦県となった。
	12	12	横浜・横須賀・浦賀・三崎・金沢間の郵便が始められた。
1872	6		富岡村持明院に郷学校（富岡小学校のはじめ）がひらかれた。
1873	5	23	三分学舎（六浦小学校のはじめ）ひらかれた。
	5	26	赤井学舎（釜利谷小学校のはじめ）が満蔵院 <small>まんぞういん</small> にできた。
1877	9		コレラ病が流行したため、富岡に伝染病院がたてられた。
1883			金沢湾にのり養殖場 <small>ようしよくじよう</small> ができた。
1887	6		伊藤博文 <small>いとうひろbumi</small> が金沢に来て、夏島に別荘をたてた。



西暦	月	日	主 な で き ご と
1888	6	6	憲法制定のための会談が東屋旅館で行われた。この会議は、この後、夏島の伊藤博文の別荘で行われた。
	9	26	今の洲崎町に武蔵金沢郵便局がひらかれ、普通郵便の集配が始まった。
1889	4	1	三分村と釜利谷村が合併して六浦荘村となった。
1894	11		長浜検疫所ができた。
1900			泥亀新田に蓮根が栽培されるようになった。また、このころからトマト・パセリ・アスパラガス・サラダ菜などの西洋野菜が栽培されるようになった。
1911	2	11	金沢郵便局が電信の仕事を始めた。
	9	16	金沢郵便局が電話の仕事を始めた。
	10	1	釜利谷と六浦間にトンネルができた。
1917	9		湘南電気鉄道（現在・京急電鉄）ができ、浦賀・黄金町間が開通した。
1920	10	1	第一回国勢調査があり、六浦荘村（釜利谷地区をふくむ）の人口は4219人であった。
1921	8	16	横浜の八幡橋から金沢経由逗子間の乗合自動車が30分毎に運転されるようになった。
1923	9	1	関東大震災がおきた。多くの家がたおされた。当時の釜利谷小学校の校舎のほとんどがたおされた。
	9	20	釜利谷小学校、震災後はじめて授業が再開された。金蔵院・手子神社・禅林寺など分かれて授業が行われた。
1925	10	1	第二回国勢調査が行われ、六浦荘村の人口は、4326人であった。
1926	1	1	金沢村が金沢町となった。
	2		三分・釜利谷の二つの小学校が合併して六浦荘尋常高等小学校となった。
	3	9	六浦荘尋常高等小学校が釜利谷に分教場をつくった。
	8		六浦荘尋常高等小学校の校舎が現在の場所にたてられた。
1930	4	1	横浜の黄金町と浦賀間と金沢八景、湘南逗子間に湘南電気鉄道が開通した。このとき、今の金沢区内につくられた駅は、湘南富岡・金沢文庫・金沢八景の三駅である。
	8	8	金沢文庫（県立図書館）の開館式が行われた。
	10	1	第三回国勢調査が行われ、六浦荘村の人口は、4607人であった。
1931	12	26	京浜電鉄横浜市内乗り入れ線（横浜駅・日の出町間）が開通し、湘南電鉄との連絡が完成したので、乗合自動車による連絡が廃止された。
1934	11	10	横浜海軍航空隊が富岡にできた。
1935	10	1	第四回国勢調査が行われ、六浦荘村の人口は、5740人であった。
1936	10	1	金沢町と六浦荘村が横浜市磯子区に組み入れられた。
			釜利谷小学校は、六浦尋常高等小学校、釜利谷分教場と名前をかえた
	10		横浜市上水道の金沢への給水が始められた。当時の給水戸数は約800戸であった。
	11	1	南消防署金沢出張所ができた。
1941	4	1	海軍航空技術廠が六浦町、釜利谷町、大川にまたがって設けられた。
	4	1	釜利谷小学校は、六浦国民学校、釜利谷分教場と名前をかえた。
1944	4	1	釜利谷小学校は、六浦国民学校から独立して、釜利谷に釜利谷国民学校ができた。
			金沢と大船を結ぶ相武トンネルが開通した。
1945	1	22	釜利谷小学校の校舎が現在の場所にたてられ、完成した。同じく防空壕も完成した。
	6	10	空襲により富岡南部に爆弾が投下された。家の被害は、全壊59戸、全焼12戸であった。
1947	4	30	釜利谷小学校は、釜利谷国民学校から横浜市立釜利谷小学校と名前をかえた。

西暦	月	日	主 な で き ご と
1948	5	15	金沢区が礪子区から分かれて一つの区となった。
1949	2	1	横浜市営バスが、横浜・六浦間で運転されるようになった。 このころ、京浜急行電鉄急行バスが横浜・三崎間で運転されるようになった。
	3	1	区内小学校作品展がひらかれた。
1951	4	20	横浜市営バスが六浦橋と白山道間で運転をはじめた。
	5	22	釜利谷バス乗り入れ開通式がおこなわれた。
1952	9		釜利谷町の宮川橋が完成した。
1953	12	11	金沢文庫すずらん通りアーケードの開通式がおこなわれた。
1956	7	18	釜利谷小学校のプール開きがおこなわれた。
1963	3	20	釜利谷小学校の体育館が完成した。
	11		平潟湾埋立工事が着工された。
1964	12	1	釜利谷郵便局がつけられた。
1966	3	31	平潟湾埋立が完成し、柳町ができた。
1967	6	20	金沢八景新駅舎が完成した。
1971	2	1	金沢地先埋立事業が着工された。
1973	11		釜利谷市民の森が開園した。
1974	6	29	金沢地先埋立一号地が完成した。
1975	8	23	金沢地先埋立二号地が完成した。
	9	1	釜利谷西小学校が開校した。 二本松トンネルが開通し、釜利谷と礪子方面がつながった。
1976	3		金沢地先埋立一号地住宅団地の造成が着工された。
	6	24	横浜逗子線の一部である泥亀・釜利谷線の一部が開通した。
1978	3	11	金沢自然公園整備事業がはじめられた。
	4	1	高舟台小学校が開校した。
	10	16	海の公園の工事がはじめられた。
1979	4	2	釜利谷東小学校が開校した。
	12	6	横浜・横須賀道路が開通した。
1980	12		金沢地区センターが開館した。
	7		海の公園の一部が利用できるようになった。
1981	4	1	西金沢中学校が開校した。
	10	13	アメリカ軍の小柴貯油施設が爆発した。
1982	2	20	釜利谷郵便局ができた。
	3	13	金沢自然公園の一部が開園された。
	5	10	釜利谷消防出張所ができた。
1984	11	15	シーサイドラインの建設がはじめられた。
1985	5	5	金沢自然公園にインド象がきた。
1986	4	1	釜利谷中学校が開校した。
1987	6	3	横浜・横須賀道路の金沢支線の工事がはじめられた。
	7	30	金沢区総合庁舎改築工事が完了した。 <small>そうごうちょうしゃがいちく</small>
1988	7	1	金沢動物園が完成した。
1989	4	1	横浜市立釜利谷南小学校が開校した。

# おわりに

副校長 遠矢 憲二

釜利谷南小学校が誕生してから、今年で10年になりました。創立10周年を記念して、釜利谷南小の学区を中心とした釜利谷地区の移り変わりや様子をまとめました。この「わたしたちの釜利谷南」は、昔のことを図書館で調べたり、何十年も前から釜利谷に住んでいた方にお話を聞いたり、手子神社の資料を調べたりして書きました。また、今のまちの様子は写真を使ってよく分かるようにしました。中学年の社会科や低学年の生活科の学習に役立ててもらえるように写真や図もたくさんいれました。また、家族みんなで読んで、私たちが暮らしているまちの昔のことやこれからのことを話し合うのも楽しいと思います。

この資料集は、昔の資料をさがしたり、分かりやすく書く工夫をしてくださった先生方や昔のことを教えてくださった地域の方々のおかげで出来上がりました。本もまちも学校も大切にしてくれることを願っています。

## 本校職員

学校長 林 三郎

副校長 遠矢 憲二

岡野真由美	小澤佳代子	野村 妙子	佐藤 坦子	遠藤 稔夫
内堀 雄一	岩瀬 幸	能勢 道子	前田 崇司	渡辺 良江
松永貴久子	河合 厚子	山鹿 紀子	千葉 寛美	鎌田 和宏
伊藤 洋子	山田 均	上地 明子	高松千恵子	小松原敬子
篠原 厚夫	森谷 昌代	和田 和子	矢島 一男	新宮 文子
森 美津子	岡本 福子	片塩 潤子		

